

2月3日は節分。恒例となった県立幼稚園との交流体験実習「豆まき」。

最近の節分は恵方巻に押され、豆の売り上げが伸びないとのこと。また、節分に殻付きのピーナッツを投げるのは新潟独特の文化だそう。それぞれの地方文化や時代によっていろいろなやり方があるようで、それはそれで結構面白い。



26/2/3 豆まき交流体験実習



こ、こわすぎる……

さて、今回は1年生14人が参加。各自が力作の「鬼の面」を持って県立幼稚園へ。昨年に続いて天候にも恵まれ、心も弾む。玄関では鬼よけの終（ひいらぎ）に迎えられ、交流体験実習が始まった。

まずは玄関で「豆を炒（い）る」作業の手伝い。香ばしい香りで園児たちをお迎え。園児たちの元気なあいさつに思わず高校生の顔がほころぶ。

<ほし組との交流>



いよいよ「ほし組」さんの園児たちと渡辺先生の進行で顔合わせ。

その後みんなで玉入れと2人で棒を持つてのリレーで交流。チーム対抗はやっぱり燃える！特にリレーはけっこうスピード感があって園児たちも大盛り上がり。あっという間に時間は経過。交流は順調な滑り出しとなった。



豆まきは紅組の連勝！



リレーは白組の連勝！

<豆まき集会>

園児たちが描いた鬼の絵が飾られた遊戯室に全員集合。まずは全員で「豆まきの歌」、次に田村先生から節分のいわれについて話を伺う。思わずうなずく高校生。

続いて園児たちの代表と高校生が自分の中の退治したい鬼をみんなの前で発表。「わすれんぼ鬼」「おこりんぼ鬼」・・・etc. 鬼は結局自分の中にいるんだね。





振り付けばっちり元気「赤鬼と青鬼のタンゴ」を踊った後はいよいよ豆まき。恒例のドラえもんに扮した園長先生（新潟北高校長が兼務）を見本にみんなで楽しく豆をまいていると・・・

不気味な音とともにこれまた恒例、迫力満点の赤鬼と青鬼が遊戯室に乱入して大混乱!!青鬼は金棒を粉碎するほどの大暴れ。

赤鬼のアクションも例年とはひと味違う大迫力!っていうか大爆笑!逃げまどう園児たちに鬼が容赦なく襲いかかる。泣き出す園児も多い中、勇気を持って鬼に立ち向かう者も登場。みんなで力を合わせてついに鬼は外へ逃亡していった。あー疲れた。



この平和が・・・

一瞬で大混乱!!



副園長!



戦い終わって豆拾い

<おやつ時間>

散らばった豆をみんなで拾い、最後に「春よこい」を歌って集会はお開き。それぞれの教室に戻っておやつ時間。高校生も各部屋に別れて園児たちとの会話を楽しんだ。

いつもながら園児たちの元気に助けられ、無事交流体験実習は終了した。わずかな時間であったが、本当に楽しく、有意義なひとときを過ごすことができた。

実習後のアンケートから一部を紹介したい。

- ・ 本当にかわかった。こどもたちのおかげで楽しい時間を過ごせた。
- ・ 保育士になりたいという意識が高まった。
- ・ 小さかった頃、鬼が怖くていつも先生の後ろにかくれていたのを思い出した。
- ・ テーブルや椅子が低いのを見て、自分もこんなに小さかったんだなあとしみじみ思った。
- ・ おやつするとき、いっぱい話してくれて楽しかった。
- ・ とっても純粋に、正直な反応をしてくれることがよくわかった。
- ・ おかしの用意に時間がかかってしまったのもっとてきぱき行動できるようにしたい。
- ・ 来年の餅つきにもぜひ参加したい。(豆まきは1年生、もちつきは2年生が参加することになっている)

それぞれ今回の実習で感じたことを大切に、今後に生かしてほしい。同時に、幼稚園の先生方に大変なご協力をいただいたおかげでこの体験交流が実施できていることを忘れてはならない。

県立幼稚園の皆様、よかったですら来年もぜひよろしくお願ひします。



心洗われるひととき



この広報は、新潟北高等学校ホームページ

http://www.niigataki-h.nein.ed.jp/gakkou/top_gakkou.htmlにも掲載しています。